

I

問 1

1-led 2-raise 3-surrounding 4-relying
5-held 6-reveals

問 2

skill of typing

問 3

しかし肥満という肥大化しつつある問題に示されているように、肉体を動かすことは、個人にとっても社会全体にとっても、単に A 地点から B 地点に着くことをはるかに超える利益をもたらす可能性が高い。

問 4

脳が手を制御するという基本的なプロセス

問 5

5

選択肢 5 の **in order to make her argument more credible** の部分が本文と合わない。筆者は自分の主張をしているのではなく、手書きの指導の賛否両論を紹介しているに過ぎないから、自分の主張の信頼性を高めるという記述は合わない。

II

Its advantage is that it has enabled us to carry small and sophisticated devices like lap-top computers or smart phones, allowing us to communicate at any time and at any place. Its disadvantage, is excess use of such devices for communication keeps us from seeing in person, leading to human relationships and life of less emotional satisfaction.

[III]

【解答】

- A. 1. (d) 2. (b) 3. (c) 4. (b) 5. (c) 6. (c)
B. 7. (c) 8. (d)
C. 9. (d) 10. (c) 11. (b) 12. (a)
D. 13. (d)

E. 14. (c) 15. (c) 16. (c)

【解説】

1. ”either” は、前に同じ動詞を否定する2文が並ぶときに使用される。ここでは、”..., you ... wouldn't be alone. ..., you wouldn't be right, either.” となる。
2. 前後に2文が並んでいるので、ここには接続詞がなければならない。選択肢のなかで接続詞の機能を持つのは(b)の関係詞のみ。
3. ”within”以外の選択肢は明確な時間的起点が要求される。”It is only ~ years that ...”の強調構文は、onlyがあることで比較的近年の出来事であることを強調し、”within”を加えることで、近年性がさらに強調される。
4. 「古代の地図はほとんど北を上にしていない理由」を述べる箇所なので、理由の前置詞、”for”が正解。
5. 前半に、「文化によって仰ぎ見る人物や対象が異なる」とあり、従って地図上で仰ぎ見る、つまり上部に来る方位も文化によって異なるはずだから、そこに一貫性がなくても驚くに当たらない。よって(c)が正解。
6. すぐ後に、「コロンブスは、自分は天国に向かって進んでいると言っている、だから彼の知性は中世の“mappa mundi”に由来する」とあり、第7段落の最終文に Mappa Mundi は東を上置いていたとあることから、コロンブスが思い浮かべていた世界は東が上だと分かる。

【IV】

【解答】

17. (a) 18. (c) 19. (b) 20. (d) 21. (a) (22) (b) (23) (b) 24. (c)
25. (c) 26. (a) 27. (c) 28. (d) 29. (b) (30) (a) (31) (a) 32. (b)
33. (d) 34. (a) 35. (c) 36. (d)

【解説】

【IV】

【解答】

17. (a) 18. (c) 19. (b) 20. (d) 21. (a) (22) (b) (23) (b) 24. (c)
25. (c) 26. (a) 27. (c) 28. (d) 29. (b) (30) (a) (31) (a) 32. (b)
33. (d) 34. (a) 35. (c) 36. (d)

【解説】